

令和6年度 八丈町立富士中学校 第2学年 キャリア教育年間指導計画

【基本指導方針】 総合的な学習の時間に行われる学習活動を根幹とし、全教育活動においてキャリア教育の実践を図る。

1 キャリア教育目標

- 自己の個性を理解し、自立意識の滋養と豊かな人間性を育成する。
- 将来、社会人・職業人として自立し、時代の変化に対応できる、必要な意欲や能力を身に付ける。
- 働くことの意義を理解し、興味・関心等に基づいた職業観・勤労観を身に付ける。
- 自ら進路計画を立案し、適切な進路選択ができる。

2 2学年の重点目標

自己啓発（社会を知る）

- 中堅学年としての自分について考える。
 - ・ 社会は「支え合い、協力、協働」で成り立つことをさらに深め、中堅学年としての自分役割を考え、学校生活、将来の生活に役立てる。
 - ・ 自分たちが生活する国である日本の平和について考え、平和の大切さと人との繋がりを理解する。
 - ・ 平和な社会の実現のため、将来の社会における自己の役割を考える。
- 自分の適正を知り、望ましい職業観や勤労観を育成する。
 - ・ 自己の適正を知り、職場体験などの活動を通して、望ましい職業観や勤労観を身に付け、自己の将来について思い描き、現在の活動を高める。

3 学習内容

(1) 社会と共に生きる【社】

- 職場で実際に仕事を体験することで、仕事をする意義、大変さを確認し、仕事をする中で社会は作られていることを学び、自己の進路選択に役立てる。
- 修学旅行を通して、歴史上の史跡が多く残る地や戦争の悲劇を伝える地を訪問し、実際に見る・聴く・触れることで日本の文化と伝統ある歴史と平和の大切さへの学習を深め、自分たちが生活していく社会を見つめる。

【取組】→ 職場体験への取組（職場体験学習、職場体験新聞製作、職場体験発表会） 修学旅行への取組（訪問地に関連した、歴史・文化・伝統などの学習）

(2) 人と共に生きる【人】

- 自己の生活の場をより良くするように自ら考え、行動できる姿勢と気持ちを育む。
- 人間の生活は全て支え合い・協力・協働であるということを学習し、理解する。

【取組】→ 体験学習（講師講話・体験授業を通して地域の方々との触れ合い） 職場体験への取組（体験先での交流）

(3) 地域と共に生きる【地】

- 環境学習・保健学習・・・自分を取り巻く環境（身体的・社会的・精神的）の状態を知り、健康の増進のための方法を考える。

【取組】→ 体験学習（夏季休業課題「地域調べ」→発表会・新聞製作）

(4) 地域貢献【貢】

- 八丈島に愛着をもち、未来を切り拓く主体性とコミュニケーション能力を身に付ける。

【取組】→ 体験学習（自分たちが生活している八丈島の文化・歴史・環境の理解を図る）

4 年間指導計画 ※表中の○数字はキャリア教育全体計画育成すべき4つの能力の18の観点を示す。

月	行事 特別活動	学習	キャリア教育の基礎的・汎用能力(指導観点)				学活との関連	道徳との関連	教科との 関連	指導内容
			人間形成能力 社会形成能力	自己理解 自己管理能力	課題対応 能力	キャリアプラン ニング能力				
4	学級開き	2学年の生活 のスタート 【人】【社】	○2年生として後 輩との関係や自 己役割を考える ③	○中学校での自 分の夢や目標 の実現に努力 する。⑦	○目標を見出し達 成に努める。⑪	○2学年の教育活 動を理解し、理 解を深める。⑬	○学級開き	A-(2) 望ましい生活習慣 A-(4) 着実にやり抜く意志 B-(7) 礼儀の大切さ	【全教科】 学習の適応	○2年生としての生活・学習の仕方を理解し、 目標・課題を立てる。 ○自己管理する能力を高める。 ○後輩との関係を考える。
	委員会 部活動 説明会	私たちの 学年・学級 【人】【社】	○自分の役割を理 解し、人のため に実行する。⑤	○自分の適性を 理解して学級 での役割を分 担する。⑥	○係り、当番等を 通して仕事の取 り組み方が分か る。⑪	○学級の中での自 分の役割を把握 し協力して仕事 をする。⑫	○委員会・部 活動・係の 役割。 ○組織づくり。	C-(15) 母校の誇り C-(10) きまりを守る B-(6) 思いやる心		○自分の目標に照らし合わせ、自己の役割を 認識し、委員、係の仕事内容を考え、自ら主 体的に活動し、学級活動が円滑に行われる 様な取組を考える。
	キャリア教 室	移動教室に 関する活動 【地】【社】【ふ】	○協力して準備・ 活動を進める。 ①⑤	○自分の特性を 知る⑥	○仕事の取組方が 分かる。⑩ ○必要な情報を収 集し活用する。 ⑨⑪	○学習した内容を 自分の生活に生 かす。⑬	○修学旅行へ の取組	C-(15) 集団と役割 C-(17) 身近な日本の文 化	【理科】【社会】 テーマに関 係した学習 を行う。 【技術】 情報検索	○自主的な学習を促し、グループで協力をさ せながら学習を進めさせる。 ○自己(グループ)の考えた課題に合わせ、 見学先を調査し、そこでの調査内容を設定 させる。 ○学習内容を分かりやすく伝える力を育む。 ○振り返りを着実にし、3年の修学旅行に つなげる。
5	進路学習	将来の生き方 を考えよう 【人】【社】	○様々な社会に参 画する方法を知 る。①	○夢の実現に向 かって努力す る。⑦	○情報を収集し多 様な生き方を知 る。⑨⑪	○興味や生き方を 生かす生き方を 検討する。⑰⑱	○今年度の 目標	A-(3) 自分を探そう		○2年次の生活の仕方を考える。 ○自分はこの1年をどのように過ごすか、そ の内容や方法を考えまとめる。
	交通安全 教室	自転車の 安全な利用 【社】	○正しい利用の仕 方を理解し、生 活に生かす。⑤	○自分の利用の 仕方を点検す る。⑧	○交通事故主な原 因であること認 識する。⑨⑪	○自転車の安全な 活用を考える。 ⑱	○安全指導	D-(19) 人間の尊厳 C-(10) きまりを守る	【保健体育】 ●安全教育	○自転車の利用の仕方によっては大事故と なってしまうことを学び、安全に自転車を 利用する態度を養う。
	進路学習	職業と産業を 学ぼう 【人】【社】	○自己職業観を築 く。③	○社会の中での 仕事の意味を 理解する。⑧	○産業の構造や社 会の仕組みを理 解する。⑩	○社会は人々が互 いに支え合っ て いることを知る。 ⑩	○進路学習	C-(16) 郷土を愛する心 B-(9) 人と人との交わり	【社会】	○1年次の職業調べを基にし、自分の関心の 高い職業(職場体験での職業)に着目し社会 での役割、自分への適性を考える。

月	行事 特別活動	学習	キャリア教育の基礎的・汎用能力(指導観点)				学活との関連	道徳との関連	教科との 関連	指導内容
			人間形成能力 社会形成能力	自己理解 自己管理能力	課題対応 能力	キャリアプラン ニング能力				
5	進路学習	仕事に必要な資格や免許、適性を知ろう。 【人】【社】	○希望の職業の資格や適性を 知る ①③	○学習と将来の生 き方との関連を 理解する ⑦	○情報を収集しま とめる。⑪	○様々な職業と 職業人の生き 方、人間関係力 の必要性が分 かる。 ⑩	○進路学習	A-(3) 自分を探そう	【社会】	○職業につくための道筋(進路)に必要な資格、 資質などを調査し、自分と対比する。 ○職場体験の計画を立案し、実行に向けて考 える。
	進路学習 体験学習(移動教室)	働く上でのマナーの取得 【人】【社】	○社会人として必 要な基本的な 行動(マナー) を学び、働く姿 勢を育む。①④	○基本的な行動を 知ること生活 に生かす⑦⑧	○社会における必 要な基本的な行 動(マナー)を理 解する。⑨⑪	○自分の生活に 生かす。⑬⑭	○職場体験へ の取組	B-(7) 礼儀の大切さ B-(9) 人と人との交わり		○社会での基本的な行動(マナー)について 理解させる。 ○社会は人と人との繋がりによりできている ことを踏まえ、人との接し方を学習させる。
	期末考査 定期テスト	学ぶ意義を 考えよう【人】	○学習と将来の生 き方との関係を 理解する。①	○自分の得意不得 意を知る⑥ ○意欲的に学習 して学校生に 適応する。⑧	○学習の課題を見 出し解決しよ うとする。⑩	○自分に合った計 画を立てる⑯ ○学んだことが将 来何にかに役 立 つか気付く⑬	○テスト計画	A-(4) 着実にやり抜く意志	【全教科】 将来につく 職業との 関係	○現在行っている学習は、生きていく上でど の様に生かされるかを考え、理解させる。 (5・6・10・12・2月実施)
6	職場体験	職場体験学習 【人】【社】	○自分の職業への 適正を知る ③ ○新しい環境や 人とコミュニケ ートできる。④	○社会の中での様 々な仕事の関連 が分かる⑧	○職業に就いてい る人の生活や考 えが分かる。⑩	○職場体験で得 た 内容を自己の将 来に生かす。 ⑭⑮⑯	○職場体験へ の取組	B-(7) 礼儀の大切さ B-(9) 人と人との交わり	【全教科】 教科と職業 との関係	○体験学習による自己課題の発見と解決 ○働くことの大変さや喜びなどを体験を通し、 学習することで自分の将来につなげさせる 。 ○家庭の仕事にも目を向け、理解し、共感す る機会とする。
		職場体験 スライド作成 職業発表会 (7月) 【社】【人】	○自分の意見を 伝えることが できる。③④	○自分の興味・関 心を知り、自己 の心情を見つめ る。⑥	○自己の興味関心 に応じ、有益と なる情報を選択 できる。⑨⑩⑪	○職場体験先で の職業人の考え や生き方を理解し 自分の生活に生 かす。⑭⑰⑱	○職場体験へ の取組	A-(3) 自分を探そう B-(9) 人と人との交わり	【国語】 表現・読解力 【社会】 【技術】 情報検索	○友人と情報の共有を図り、自己の活動を振り 返らせる。 ○他の人に自分が経験した職業の内容、楽し さ、大変さなどを発表を通してうまく伝えるよ う表現、話し方などを考え、実践させる。
		学校生活の充 実(男女の理 解と協力)【人】	○他者の長所を 理解できる。③	○自分の特性を 知る。⑥	○自他の違いに 気付く。⑪	○自分を生か せる生活計をする 。 ○自己の生き方 を検討する。⑯	○生活の向上	B-(6) 思いやる心 B-(6) 愛と感謝	【保健指導】 【保健体育】 性に関する 学習	○男女の違い、特性を理解し互いに尊重し協 力して生活をしていく力を育成する。
		生徒総会 生徒会週間	生活の場を知 ろう。 より良い環境 づくり。 【社】【人】	○自他の役割と 責任を自覚なが ら、協力しチー ムで仕事ができ る。①②⑤	○生活している 場を知り自己 生活の場での 役割を考える ⑧	○様々な調査活 動(提案内容等) で得た情報を整 理し評価するこ とができる。⑪	○係・委員会活動 を通して、仕事 の取り組み方 を理解できる。 ⑭ ○自分の役割や 考え、やるべき 事 や人の為にな る 事を実行する ことができる。 ⑫	○委員会・部 活動・係の 役割	C-(10) 決まりを守る A-(2) 望ましい生活習慣 C-(15) 母校の誇り	
	セーフティ 教室	安全な環境作 りと自らを 守る姿勢 【人】【地】【貢】	○正しい利用の 仕 方を理解し、生 活に生かす。⑤ ○自己を守る対 応ができる。① ②	○自分の利用の仕 方を点検する。 ⑥ ○自分の住む環 境を知り、再点 検する。⑥	○使用の仕方によ る弊害を理解す る。 ○身の回りにある 危険を理解する 。⑨⑪	○自分の生活に 生 かす。⑬	○安全指導	C-(10) 決まりを守る D-(19) 人間の尊厳	【保健体育】 【家庭】【社会】 関連単元 ●安全教育	○現代社会における危険な行為や事象を認 識し、それに対する身を守るすべを学習さ せる。 ○危険を回避する手段を学び、他の人と協力 して安全な生活を営む姿勢を育む。
7	1学期の 振り返り	学校生活を 振り返る【人】	○自分の役割と 責任を理解し学校 生活に適応し、 努力する。④ ⑤	○自分の長所・短 所を認め受容で きる。 ⑥⑦⑧	○関連情報を収集 整理、発表でき る。⑨⑩⑪	○悩みに気付き 善の解決を図る。⑰	○1学期の 振り返り ○夏休みの 計画	A-(2) 望ましい生活習慣 B-(8) 友に学ぶ	【各教科】 各教科 の目標	○1学期の生活、夏休みの生活を振り返り反 省・検討を行い、2学期以降の生活に生かさ せる。 ○新学期の自己の行動を意識させる。
	大掃除	生活環境を 考えよう【社】	○自他の役割と 責任を自覚なが ら、仕事ができ る。④⑤	○今の自分は生 活環境に対し 何をすべきか 考える。⑦	○仕事の組み 方が分かる。⑪	○自分の役割を 把握し実行する。 ⑮⑯	○奉仕活動	C-(15) 母校の誇り C-(10) きまりを守る B-(6) 思いやる心	【社会】 環境 【家庭】 家庭環境	○奉仕活動をすることで勤労の大切さを考え させる。 ○身近な環境(学校)から地域の環境を考えさ せる。

月	行事 特別活動	学習	キャリア教育の基礎的・汎用能力(指導観点)				学活との関 連	道徳との関連	教科との 関連	指 導 内 容
			人間形成能力 社会形成能力	自己理解 自己管理能力	課題対応 能力	キャリアプラン ニング能力				
9	校庭整備	ボランティア活動しよう(社会の一員として生きる)【社】	○互いに支え合っていくことの必要性が分かる ⑤	○社会のために貢献できる自分に気付く。⑧	○ボランティア活動する人の考え方が分かる。⑩	○自分の役割を考 え人の役に立つよ うに務める。⑫⑬	○奉仕活動	C-(15) 集団生活の向 上 C-(15) 母校の誇り C-(16) 郷土を愛する 心		○人の生活は支え合いにより成り立っている 事を理解し、今やれる事を考え行動させる。 ○働く事の意義、喜び、必要性を考えさせる。 ○様々なものに支えられていることに感謝の 気持ちをもち、振り返らせる。
	運動会	人(上級生) との協力 【総】	○協力して準備を 進める。 ②③⑤	○自分の特性を 知る。 ⑥⑦⑧	○役割の取組み 方が分かる。 ⑩	○自分の役割を 把握し、実行する ⑫	○運動会へ の取組	C-(15) 集団生活の向 上 C-(13) ともに支え合う C-(15) 母校の誇り	【体育】 集団行動 行事の運営	○自分の適性を知り、自分の活躍の場を見出し 努力をさせる。 ○協力の大切さを認識させ、練習方法の工夫や 演技の内容を考え創造力を育成する。
10	陸上競技 記録会	自己を高める 【総】	○協力して準備を 進める。 ②③⑤	○自分の特性を 知る。 ⑥⑦⑧	○役割の取組み 方が分かる。 ⑩	○自分の役割把握 し実行する。 ⑫	○記録会へ の取組	C-(15) 集団生活の向 上 C-(15) 母校の誇り A-(3) 反省と向上	【体育】 自己の体力 を高める	○自分の適性を知り、自分の活躍の場を見出し 努力をさせる。 ○自己記録の向上を目指し、練習の仕方を考え 努力する姿勢を培う。 ○学校代表としての意識と責任を高める。
	防災講話	環境を 考える(2) 生き抜く力を 育む【社】【人】	○災害発生時の自 己の役割に気付 く。⑤	○自己の防災に関 する能力を知り 、高める。⑧	○災害に対する情 報を整理し、活 用できるように する。⑩	○自分の生活に生 かす。⑬	○安全指導	D-(20) 自然と人間 C-(18) 人間みなきよ う だい	【保健】 防災教育	○災害に対する対処方法を学習し、災害に対す る手立てを考えさせる。 ○災害体験を聞き、それに立ち向かう人々の心 に触れ自分は何ができるか考えさせる。
11	合唱コン クール	人(クラス)と の協力【総】	○協力して準備を 進める。②③⑤	○自分の特性を 知る。⑥⑧	○役割の取組み方 が分かる。⑩	○自分の役割を実 行する。⑫⑬	○合唱コン クールの取組	C-(15) 集団生活の向 上 B-(9) 相手の立場で	【音楽】 情操・協力	○全員で協力しひとつの物を作り上げる意義を 考え、自己の役割と協力の心を育む。
	移動教室	移動教室に 関する活動 【地】【社】【ふ】	○協力して準備・ 活動を進める。 ①⑤	○自分の特性を 知る⑥	○仕事の取組み方 が分かる。⑩ ○必要な情報を収 集し活用する。 ⑨⑪	○学習した内容を 自分の生活に生 かす。⑬	○修学旅行 への取組	C-(15) 集団と役割 C-(17) 身近な日本の 文 化	【理科】【社会】 テーマに関 係した学習 を行う。 【技術】 情報検索	○自主的な学習を促し、グループで協力をさせ ながら学習を進めさせる。 ○自己(グループ)の考えた課題に合わせ、 見学先を調査し、そこでの調査内容を設定 させる。 ○学習内容を分かりやすく伝える力を育む。 ○振り返りを着実にを行い、3年の修学旅行に つなげる。
12	三者面談	相談を利用し よう(相談の心 構えや活用の 仕方)【人】	○自分の特性を他 人に表現できる ③④	○自分長所と成 長を理解でき る。⑥⑦⑧	○学んだことが将 来に役立つこ とに気付く。⑩	○日常生活と将来 の関連に気付く ○意思決定過程と 責任を自覚し、 悩みと解決策を 検討する。⑱		A-(5) 理想の実現 D-(22) 人間の気高さ		○自分の生活などの振り返りを行い、今後の生 活に生かすようにする。 ○第三者の意見に耳を傾け、自分の向上に役 立てさせる。
	進路学習	未来予想図 づくり	○社会生活に適応 する重要性に気 付く。①	○自己の理解の重 要性に気付く。 ⑥ ○自分の夢を考え る。⑧	○夢の実現に必要 な情報に気付く 。⑩⑪	○進路計画の必要 性に気付く。⑮ ○自分の人生に責 任をもつことに気 付く。⑱	○進路学習	A-(5) 理想の実現 A-(3) 反省と向上	【全教科】関 連した内容	○自分の人生設計(進路計画)を立てる意義を 理解し、今後どのような生き方をしていくか 考えさせる。
1	修学旅行の 取組	修学旅行への 準備【総】	○よりよい生活を 考える力を高め る。⑤	○自分の役割を理 解する。⑥ ○自分の特性を知 る。⑥	○必要な情報を集 約し、活用する。 ⑪ ○仕事の取組み 方が分かる。⑩	○自分の役割を実 行する。⑫ ○協力して準備・調 査を行う。 ⑫	○修学旅行 への取組	A-(1) 自律と責任 C-(10) きまりを守る C-(17) 身近な日本の 文 化	【理科】【社会】 【国語】【技術・ 家庭】 テーマに関 係した学習	○自主的な学習を促し、グループで協力をさせ ながら学習を進めさせる。 ○自己(グループ)の考えた課題に合わせ、見 学先を調査し、そこでの調査内容を設定する 。(日本の歴史・平和・文化遺産について学ば せる。) ○学習内容を分かりやすく伝える工夫をする ○班活動での自己の役割を理解させる。
3	学習発表 会	学習発表会に 向けて【総】	○協力して準備を 進める。 ②③⑤	○自分の特性を 知る。⑥⑧	○役割の取組み 方が分かる。⑩	○自分の役割を 把握し実行す る。⑫⑬	○学習発表 会への取組	C-(15) 集団生活の向 上 A-(3) 反省と向上	【全教科】 作品の鑑賞 について	○お互いの作品や成果を見合うことで他の人の 良さを発見するとともに考えを理解し、感じる 力を高める。
	三年生を 送る会 卒業式	人(学年) との協力【人】	○上級学校での生 活を知る。① ○自分の役割を実 行する。⑤	○自分の特性を知 る。⑥⑦⑧	○役割の取組み 方が分かる。⑩	○自分の役割を把 握し協力して準 備を進める。⑫	○3年生を 送 る会への 取 組	C-(15) 母校の誇り B-(6) 思いやる心		○全員で協力しひとつの物を作り上げる意義を 考えさせる。 ○人との関わりを考えさせる。
	1年間の 振り返り	最上級生の心 構え (進路計画) 【人】	○1年間を振り返 り今後の生活に 生かす。 ○自分の成長を知 る。①②	○自分を生かす 生活設計を立て る。⑥⑦⑧	○3年生の情報を 収集しまとめる。 ⑩	○希望の進路に即 して考える。 ○課題を見出し 解決に努める。 ⑬⑭⑮	○来年度へ の計画	A-(3) 反省と向上 A-(1) 自律と責任		○本年度の生活を振り返り、良かった点を確認 し、来年度へ向けての課題の発見をさせる。 ○3年生としての役割を考えさせる。 ○自己の進路選択を踏まえた計画を考えさせる 。